

# 保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

5/10

## 論述ブースト No.17

### 医療倫理の4原則を使いこなす —— 自律・善行・無危害・公正を論証の骨格に

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合否判定を行ってきた当事者です。医療倫理の小論文で「患者の気持ちを大切に」という一言で終わる答案と、自律・善行・無危害・公正の4原則を論証の骨格として構造的に使いこなした答案の評価の差を、審査側として繰り返し経験してきた。

#### 1. この講座が有効な入試問題のタイプ

##### ① 医療倫理の4原則を使った小論文

東京大学・慶應義塾大学医学部・京都府立医科大学の推薦入試では、「インフォームドコンセントを4原則から論じよ」「この医療倫理問題で原則が衝突する場合をどう判断するか」という小論文が出題される。4原則を論証の骨格として使える受験生は採点者（大学教員）に際立つ。

##### ② 原則間の衝突を論じる問題

「善行原則と自律尊重原則が対立するときどう判断するか」という問いは、医学部推薦入試で出題される。原則間の衝突を論証できる受験生は感想論述との差が歴然とする。

##### ③ 面接での倫理的ジレンマ

「患者が有害な治療を望んでいる場合どうするか」という問いは、医学部面接で定番である。4原則の枠組みで即座に論じられる受験生は試験官（大学教員）に「医療倫理を本質的に考えている」と評価される。

#### 2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
東京大学・慶應義塾大学 医学部	医療倫理の4原則を使った小論文	4原則が感想論述との差を一目で示す
京都府立医科大学・奈良県立医科大学	原則間の衝突を論じる問題	原則衝突の論証が採点者（大学教員）に際立つ
昭和大学・東邦大学 医学部	倫理的ジレンマの論述問題	4原則の枠組みが倫理的判断の論証に直結する
医学部推薦・総合型選抜（全般）	「倫理的ジレンマの判断方法」型の口頭試問	4原則で即答できる受験生として採点者に印象を残す

#### 3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

医療倫理を「患者の気持ちを大切に」という一言で済ませる受験生は、採点者が求める「論証力」を示せない。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）自律・善行・無危害・公正の4原則を論証の骨格として使いこなせる、（2）原則間の衝突を論理的に論じられる、（3）面接でどんな倫理的問いにも4原則で即答できる、という変化が起きる。

何十年も医学部の小論文・面接を審査してきた清光学院の講師陣は、医療倫理問題で「感想答案」と「4原則を骨格として使いこなした答案」の評価の差を採点者として知っている。